

取組名称：文化芸術都市京都の文化遺産の保存・活性化を支える人材育成プログラムの開発・実施
構成大学：京都工芸繊維大学、京都市立芸術大学、京都産業大学、京都ノートルダム女子大学

本取組は、文化芸術都市の創生を推進する京都市との連携を基盤に、京都市内の4大学がそれぞれ培ってきた特色ある教育研究資源を集結し、京都の有形・無形文化遺産の保存・活性化を支える人材育成プログラムの開発・実施を通じて、京都(地域)の活動に貢献するとともに、将来目標として、本取組により開発したプログラムを京都から世界に発信することを目指しています。

● 大学間連携の目的

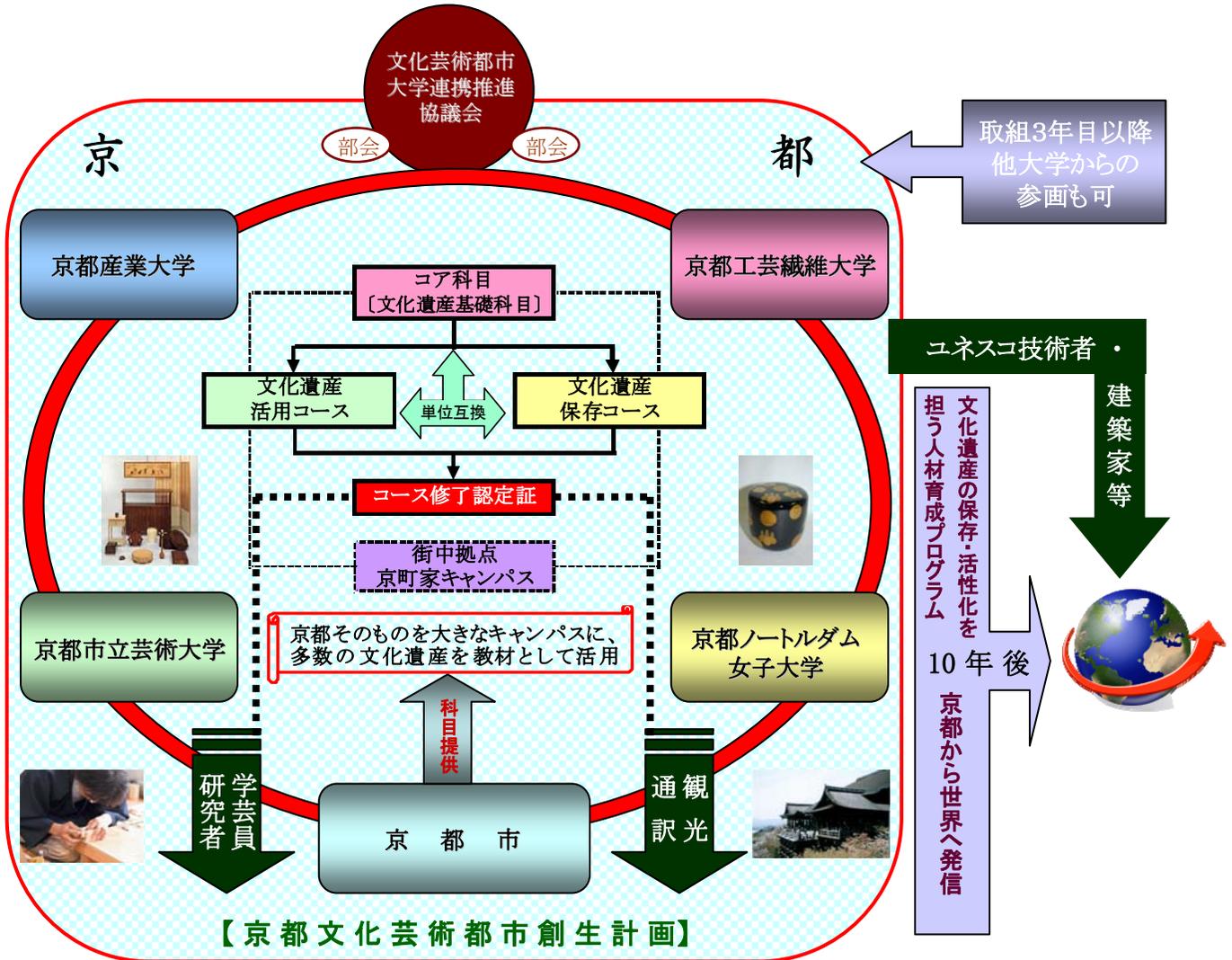
「京都文化芸術都市創生計画」を推進する京都市との連携を基盤に、工学、芸術、語学、文化交流を特色とする4大学の教育研究資源を集結し、国際的な文化芸術都市としての京都を支えるとともに、国内外の文化遺産の保存・活性化とその展開を担う人材を育成します。

● 連携取組の内容

4大学及び京都市との協働により、京都そのものを大きなキャンパスとして京都の文化遺産を教材に、それらを保存・活性化していく人材を育成します。
 具体的には、初年度教育として「文化遺産基礎科目」をコア科目として設置し、次年度教育は4大学の学生の目指すキャリア等を考慮して、「文化遺産活用コース」と「文化遺産保存コース」を設置するとともに、「文化芸術インターンシップ」も実施し、修了時に『コース修了認定書』を交付します。

● 期待される効果

本取組の成功は、京都(地域)の活動に貢献するとともに、人類共通の文化遺産の保存・活性化は、国際的な貢献も期待できます。
 また、4大学が連携して教育することにより、より一層の教育効果とさらなる教育水準の高度化、個性・特色の明確化、大学運営基盤の強化、学生のキャリアパスの確立が期待できます。



→ は、学生のキャリアパスを表す。